



「田子の浦に うちいでて見れば 白妙の 富士の高嶺に 雪はふりつつ」

(田子の浦の眺めの良い所に進み出て、遙か彼方を見渡すと、真っ白い富士山の頂上に今もなお雪は降り続けていることだよ。 山部赤人 )

この和歌は、有名なので皆さんも知っておられる方も多いのではないのでしょうか。富士山頂に積もった雪に感動した作者の気持ちが読まれています。富士山の雪化粧もきれいでしょうが、大平山の雪化粧もきれいですよ。雪が降った時には、大平山を眺めてみてください。



## 明るい社会にするために

新聞に、心温まる記事が載っていたので紹介しましょう。

・・・先日朝早く起きたのでベランダタイムを楽しもうと窓を開けたところ、遊歩道で年配の男性がごみを集めているのがみえた。白いビニール袋を手に熱心に歩道や植え込みに落ちたゴミを拾って掃除をしているのだった。服装や時間帯から見て業務で行っているのではないことは明らかだった。・・・

・・・その男性は、一人で誰もみていないと思われる時間にゴミを集めているのだった。おしゃれなチェックのシャツにスニーカーは遠目に見てもゴミ集めとはイメージがあわない。しかし、男性は何の荷物ももたずにゴミ集め用の道具だけを手にしているから、きちんと居ずまいを正してゴミを集めているのだということがわかった。どんな方がこんなふうに行動をしているのだろう、とその方の人生と心のあり方を想像した。

誰かにほめられるためではなく、誰かにみられるためでもなく、隠れたような形でいいことをする、そんな人はどんな人なのだろう。ただゴミを集めているだけなのに、その男性の身のこなしは美しくみえた。その朝はストレッチや深呼吸で自分とむきあう時間はなくなったが、「隠れて善行をする人」と出会えたことで、やはりいい気分がスタートできた。・・・

(心療内科医)

私も街中で、このような光景をよく見ます。

「道路に落ちていた空き缶やごみを拾っている人」「倒れている自転車を起こしている人」「道路の落ち葉を掃いている人」等々。このような行動を見ると誰もが気持ちが良くなるものです。テレビやラジオで暗いニュースを聞くこともあるのですが、このような光景を見ると、「まだまだ日本も捨てたものではないなあ」と思われます。このような善行を行う人がこれから少しでも増えると明るい社会になることでしょう。

「青少年育成センターだより第54号」で、「天網恢恢疎にして漏らさず」、「お天道様が見ている」という2つの言葉を紹介しました。この意味は「天は人がしたことは、良いことも悪いことも見ている」ということです。天とは、自分の良心と置き換えてもいいでしょう。誰かに見られていなくてもいつも自分の良心に従った行動ができる、そんな人間になりたいものです。

論語に「徳は孤ならず、必ず隣あり」という言葉があります。徳のある行為は必ず人を引きつけ、応援してくれる人がでてくるものです。そのような行為ができる人が増えることにより、社会が明るくなっていくのでしょう。そんな防府市になっていくとよいですね。防府市だけでなく日本全体が・・・。

(文責＝青少年育成センター指導員 藤村)